

(公財) ミズノスポーツ振興財団 2014 (平成26) 年度事業報告

2014 (平成26) 年度事業報告は以下の通りです。

I. 国民スポーツ・生涯スポーツの普及振興に対する助成		4,150万円
1. NPO法人 アオダモ資源育成の会	(100万円)	
2. NPO法人 全国ラジオ体操連盟	(100万円)	
3. (公財) 全日本ボウリング協会	(100万円)	
4. 第70回国民体育大会	(900万円)	
(1) 本大会	(和歌山) 《500万円》	
(2) スケート及びアイスホッケー	(群馬) 《200万円》	
(3) スキー	(群馬) 《200万円》	
5. (公財) 日本体育協会	(2,250万円)	
(1) 国体推進事業協力、日本スポーツ少年団 全国大会協賛及び日本体育協会情報提供事業	《800万円》	
(2) ブロック別総合体育大会 (ブロック国体)	《450万円》	
(3) 日本スポーツマスターズ2014 (埼玉)	《100万円》	
(4) 総合型地域スポーツクラブ育成・活動推進	《500万円》	
(5) 「体育の日」中央記念行事	《100万円》	
(6) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2015 (岩手)	《300万円》	
6. NPO法人 日本ティーボール協会	(100万円)	
7. (一財) 世界少年野球推進財団	(100万円)	
8. (公財) 日本障がい者スポーツ協会	(100万円)	
9. (公財) 日本スポーツクラブ協会	(150万円)	
10. (公財) 日本スポーツ仲裁機構	(150万円)	
11. (公社) 全日本アーチェリー連盟	(50万円)	
12. (公財) 健康・体力づくり事業財団	(50万円)	
II. 地域スポーツの普及振興に対する助成		200万円
1. (公社) 全国スポーツ推進委員連合	(100万円)	
2. (公財) ベルマーク教育助成財団	(100万円)	
III. 学校・社会体育の振興に対する助成		400万円
1. (公財) 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団	(100万円)	
2. (公財) 全国高等学校体育連盟	(100万円)	
3. (公社) 日本女子体育連盟	(100万円)	
4. (公財) 日本中学校体育連盟	(100万円)	
IV. 選手強化及び競技力向上に対する助成		3,300万円
1. (公社) 全日本アーチェリー連盟	(100万円)	
2. (一財) 全日本野球協会	(200万円)	
3. (公財) 全日本柔道連盟	(100万円)	
4. (公財) 全日本大学野球連盟	(150万円)	
5. (公財) 日本アイスホッケー連盟	(100万円)	
6. (一社) 日本ボクシング連盟	(100万円)	
7. (公社) 日本エアロビック連盟	(100万円)	
8. (公財) 日本学生野球協会	(100万円)	
9. (公財) 日本高等学校野球連盟	(100万円)	
10. (公財) 日本ゴルフ協会	(200万円)	
11. (公財) 日本サッカー協会	(200万円)	
12. (公財) 日本スケート連盟	(100万円)	
13. (公財) 日本ソフトボール協会	(100万円)	
14. (公社) 全日本テコンドー協会	(50万円)	
15. (公社) 日本トライアスロン連合	(100万円)	
16. (公社) 日本馬術連盟	(100万円)	
17. (公財) 日本バスケットボール協会	(100万円)	
18. (公財) 日本バレーボール協会	(100万円)	
19. (公財) 日本ハンドボール協会	(100万円)	

20. (公社) 日本ボート協会	(100万円)	
21. (公社) 日本ホッケー協会	(100万円)	
22. (公財) 日本野球連盟	(100万円)	
23. (公社) 日本近代五種協会	(100万円)	
24. (公財) 日本ラグビーフットボール協会	(100万円)	
25. (一社) 日本ウエイトリフティング協会	(100万円)	
26. (公財) 日本アンチ・ドーピング機構	(100万円)	
27. (公財) 日本卓球協会	(100万円)	
28. (社) 日本クレイ射撃協会	(100万円)	
29. (公財) 日本バドミントン協会	(100万円)	
30. (公財) 日本体操協会	(100万円)	
V. ジュニア育成に対する助成		1,500万円
1. NPO法人 柔道教育ソリダリティー	(100万円)	
2. (公財) 日本ソフトテニス連盟	(100万円)	
3. (公財) 日本アイスホッケー連盟	(100万円)	
4. (公財) 日本ゴルフ協会	(200万円)	
5. (公財) 日本ラグビーフットボール協会	(100万円)	
6. (公財) 全日本空手道連盟	(100万円)	
7. (公財) 日本テニス協会	(100万円)	
8. (公財) 全日本軟式野球連盟	(100万円)	
9. (公社) 日本ライフル射撃協会	(100万円)	
10. (公財) 日本レスリング協会	(200万円)	
11. (一社) 日本バイアスロン連盟	(100万円)	
12. (公財) 全日本スキー連盟	(100万円)	
13. NPO法人 ソフトボール・ドリーム	(50万円)	
14. (一財) 日本ドッジボール協会	(50万円)	
VI. 国内開催世界選手権大会等への助成		1,400万円
1. 2014世界アマチュアゴルフチーム選手権	(200万円)	
2. フィギュアスケートジュニアグランプリ競技会	(100万円)	
3. 世界ジュニアショートトラック選手権大会	(100万円)	
4. スピードスケートワールドカップ競技会	(200万円)	
5. 世界トライアスロンシリーズ横浜大会	(100万円)	
6. 2014FIG体操個人総合ワールドカップ東京大会	(100万円)	
7. 2014世界卓球団体選手権東京大会	(100万円)	
8. FISジャンプワールドカップ2015札幌大会	(100万円)	
9. FISジャンプワールドカップレディース2015札幌大会	(100万円)	
10. FISスキージャンプワールドカップレディース2015蔵王大会	(100万円)	
11. 第6回女子野球ワールドカップ	(100万円)	
12. 2015世界女子カーリング選手権札幌大会	(100万円)	
VII. オリンピックムーブメント昂揚に対する助成		4,090.16万円
1. 国際オリンピック委員会	《\$4万》	(490.16万円)
2. NPO法人 日本オリンピック協会		(100万円)
3. NPO法人 日本オリンピック・アカデミー		(100万円)
4. (公財) 日本オリンピック委員会		(3,400万円)
(1) オリンピックパンフレット及びカレンダー作成	《500万円》	
(2) 第17回アジア競技大会(韓国・仁川)への選手団派遣事業	《500万円》	
(3) 第2回ユースオリンピック競技大会(中国・南京)への選手団派遣事業	《200万円》	
(4) 第27回ユニバーシアード冬季競技大会(スペイン・グラナダ)への選手団派遣事業	《200万円》	
(5) 2017年第8回アジア冬季競技大会(札幌・帯広)の啓発活動	《300万円》	
(6) 東日本大震災復興支援活動	《500万円》	
(7) 2020年東京五輪・パラリンピック啓発活動	《1,000万円》	
(8) OCAアスリート委員会活動支援	《200万円》	

VIII. スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究に対する助成	1,768.26万円
1. (独法) 日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センター	(100万円)
2. (公財) 日本水泳連盟	(200万円)
3. (公財) 全日本スキー連盟	(100万円)
4. (公財) 日本陸上競技連盟	(200万円)
5. (一社) 日本ウエイトリフティング協会	(100万円)
6. スポーツ学等研究助成 (11件)	(1,068.26万円)
(1) Quiet Eye トレーニングはプレッシャー下においていかに知覚運動制御の崩壊を抑制するか? (金沢大学保健管理センタースポーツ教育部門 講師 村山孝之氏)	《91.86万円》
(2) 屋外の歩行を疑似体験可能なトレッドミル型トレーニングシステムの開発 (九州大学大学院工学研究院機械工学部門 助教 中島康貴氏)	《100万円》
(3) 変形性膝関節症患者の日常生活動作における3次元膝運動・動力学的分析 (新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科 講師 永野康治氏)	《100万円》
(4) 腱組織の弾性およびその利用効率を向上させる方法の検討 -ジャンプ中における筋への電気刺激を利用して-	
(皇學館大学大学院教育学研究科 修士課程1年 長岡大地氏)	《100万円》
(5) カヤック選手の筋の形態的特性とパドリング中の筋活動における部位特異性 (同志社大学スポーツ健康科学部 助教 若原 卓氏)	《94.5万円》
(6) 筋肥大や筋力・パワー増強を目的としたレジスタンス運動が運動後の筋機能に及ぼす影響 (北海道大学大学院教育学院 博士課程 柴田啓介氏)	《97.4万円》
(7) スキューバダイビング訓練のためのバーチャル海中体感システムの開発 (筑波大学システム情報系知能機能工学域 助教 橋本悠希氏)	《100万円》
(8) 運動と睡眠の質をつなぐ神経回路の解明 (筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 柳沢/船戸研究室 研究員 本堂茉莉氏)	《100万円》
(9) 一般的な男子高校生の短距離疾走能力に応じた技術的課題を改善するための学習プログラムの開発 (筑波大学大学院人間総合科学研究科 大学院生 西村三郎氏)	《84.5万円》
(10) ポールの使い方の違いによるNordic walkingの生理的応答に関する研究 (鹿屋体育大学大学院修士課程体育学研究科 大学院生 長谷川太一氏)	《100万円》
(11) 食事介入によるアスリートの増量が身体組成及び有酸素性能力に及ぼす影響 (早稲田大学スポーツ栄養研究所 所員/健康運動指導士 高木 俊氏)	《100万円》
IX. 自主事業	
1. ミズノスポーツメントール賞、同ライター賞	1,050万円
合 計	17858.42万円